

質問順

第504回 令和元年12月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
1	9	織田 昭雄	(1) 令和2年度町長方針について	① 来年度重要事業に移住・定住推進チームの立上げが挙げられているが、人口対策や観光政策を専門に担う部署を新設すべきではないか。	町長
				② 重点施策5項目はどれも重要であるが、産業振興の強化にある産業振興センターの強化は、まず工業に力を入れる方針ととれる。駅前商店街は富士見と境いずれも衰退傾向であるが、このままで良いのか、商業政策にもっと力を入れるべきではないか。	
				③ 富士見町の医療や健康福祉関連は他市町村と比較しても恵まれていると思うが、更なる充実の具体的な政策は。	
		織田 昭雄	(2) 旧小川別荘跡地のソーラー発電所建設計画について	① 関係区への第1回説明会が行われたが、町への業者の問い合わせ状況は。問い合わせがあった場合、どんな説明があったか。	町長
				② 11月12日の夜に行われた業者説明会で業者関係者より、旧地主から町に寄付の申し入れをしたが町では断ったので、不動産業者への売却となったとの発言があった。町はこの事実関係を把握していたか。	
				③ 業者は、雨水の放流先がないので、敷地内に地下浸透させる計画を考えているとのこと。計画地は、近くを糸静構造線が通り急傾斜であり、今後温暖化による予想できない雨量が想定されると思われる。果たして、こうした雨水処理をあの場所に認めて良いのか、町の見解は。	
		織田 昭雄	(3) 生活圏エリア内の道路や河川周辺の樹木等の整備促進について	① 町内いたる所で道路などへの支障木が目立ち、道路敷きや河川敷きの整備を計画的に取り組むべきだと思うが、町はどう考えるか。	町長
				② 私有地内の樹木が公道に覆い被さった所が目立ち、もっと行政区にお願いをして環境整備をして行くべきと思うが、町はどう考えるか。	
		2	1	川合 弘人	(1) 下水道事業の今後は、公共施設としての位置付け、公益性をどう考えているか
② 自然流下方式に移行する予定はあるか。あるとすれば、その理由は何か。事業費はどれくらいか。利用料金に上乘せされるのか。					
③ 農業集落排水施設(農集排)の一部が、公共下水道に統合されたが、その理由と統合の事業費、今後の予定はあるか。					
④ 約230億円を投じた大きな事業。総合計画との連動性をどうみているのか。					
⑤ 一般会計からの5億1000万円の繰り入れは今後も毎年継続するのか。将来的な見通しはどうか。非加入者(合併浄化槽など)への説明責任をどう考えるのか。下水道会計の収支バランスはどのような状況か。					
⑥ 借入金の返済計画はどのようになっているか。高金利の現状を明らかにしてほしい。返済のピークはいつか。					
川合 弘人	(2) 台風19号の豪雨を受けて、災害への備えは			① 初めて避難勧告が発令された。その出し方、文言などについて教訓とすべき点はあるか。	町長
				② 避難勧告を、避難指示に切り替える目安は。どのような状況で発令するのか。	
				③ 一般避難所とは別に、福祉避難所の整備が求められているが、現状と、その周知はどのようになっているか。	
				④ ハザードマップを防災にどう活かすか。配るだけで終わらせない取り組みをしているか。	

質問順

第504回 令和元年12月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
2	1	川合 弘人	(3) 人口減少対策の積極的な推進を。「移住・定住推進係」の組織化を	① 人口減少対策を専門に取り組む特命チーム「移住・定住推進係」または「人口減少対策係」を庁内に組織してはどうか。	町長
				② 新たな施策の企画・立案から、移住相談、移住体験、新築移住・空き家移住・リフォーム移住の補助、若者の地元定着、婚活事業、移住者の新規就農相談などを総合的に行うべきではないか。	
				③ 縁結びコーディネーター、移住アドバイザー制度などを設け、民間活力を積極的に取り入れてはどうか。	
				④ 出会い創出のイベント参加者に、経費の一部を助成する事業を行ってはどうか。	
3	4	小倉 裕子	(1) 台風19号から見えた課題と今後の対策について	① 今回の台風で、町はどのような課題を認識したか。今後の対応は。また、平成26年の豪雪時の課題には何があり、それは活かされたか。	町長
				② 以前から懸念されていた、暴風雨の際に防災無線スピーカーが聞き取りづらいという苦情が、今回改めて多く出された。避難勧告が出されていたにも関わらず、その情報が得られなかった世帯への今後の対策は。防災無線ラジオ全戸設置の考えはあるか。	
				③ 堤や川の様子を見に行く住民がいたが、その行為を防ぐ方策はあるか。町全体のその時々情報を放送で知らせることによって防ぐことができる可能性もあるのではないか。	
				④ 避難所との連携は取れていたか。相互に、必要な情報は届いていたか。	
				⑤ 行政区未加入の住民、ペット連れの住民、旅行者の利用等、避難所の利用についての課題は。	
		(2) 森のオフィスの検証と森のLivingについて	① 森のオフィスを作った目的は何か。森のLiving設置に至るまでにかかった費用はいくらか(建物・設備等のハード面、移住補助金・中断したソフト開発費用等のソフト面、及び年間に支出されてきた費用について、それぞれ)。	町長	
			② 森のオフィス事業について、少なくともKPI評価は効果が見えづらい内容だったと思われるが、それでも森のLivingを設置したのはなぜか。最終ゴールの内容は。		
			③ 今後、両施設の管理運営及び費用についてどのように考えているか。また、これから継続していくとすれば、今後の費用はどれくらいと見込んでいるか。今までかかった費用が森のオフィスを利用し、移住定住し、町民税を含む税收等により回収され、町民に還元されるようになる見通しは。		
4	7	三井 新成	(1) 令和2年度 町長方針 重点施策 ① 産業振興の強化について	① 商工業用地の見直しとして用途地域の見直しとあるが、全町的に幅広く行うべきではないか。町長の見解は。	町長
				② 産業強化、再基盤整備、観光強化とあるが、強化の結果としての成果をどう考えているか。	
				③ 観光関連施設としての指定管理先の運営状況と今後の展望をどう考えているか。	
				④ 新たな集客のための観光施設を統合あるいは新設する考えは。	
				⑤ 都心からの観光客を誘致するための道の駅(観光施設)を作る考えは。	
				⑥ 観光施設で働く方を対象に、サービス業としての特別研修を行えるための補助金制度を設ける考えは。	

質問順

第504回 令和元年12月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
4	7	三井 新成	(2) エコーラインの延伸について	① 再基盤整備を行うことにより、農業法人による特産品等の販売も考慮した沿線整備を考えているか。	町長
				② 新たに道の駅を整備し、群馬県の川場田園プラザに次ぐような施設を、エコーラインの延伸とともに整備していく考えはあるか。	
			(3) 令和2年度 町長方針 重点施策 ⑤ 安心安全のまちづくりについて	① 台風19号への準備対応についての反省点、改善点は。	町長
				② 防災ガイドブックの町民への周知の面から、見直しが必要と考えるが、町長の考えは。	
③ 豪雨の際に、雨量情報をタイムリーに町民に届ける必要があると考えるが、町としての対応は。					
④ 雨量計の設置は、八ヶ岳山麓に3箇所、入笠山麓沿いに3箇所くらいは必要と考えるが。					
5	2	五味 平一	(1) 災害の考え方について	① 町長が考える災害の定義とは。	町長
				② 町長就任後、国内外に発生する自然災害等について、どのような思いを持たれているか。	
				③ 百年に一度、数十年に一度の災害とよく言われるが、昨今に於ける現状分析は。今後の心構えは。	
				④ 特に就任後の国内の災害について、富士見町を想定した議論が職員を交えてなされたか。その後の展開は。	
				⑤ 富士見町及び近隣市町村に発生した災害の実態把握をし、対策を議論しているか。その結果は。	
				⑥ 災害が発生した際、人的被害を出さないためには、まず何を行うべきか。具体的に回答を。	
			(2) 町長の災害対策対応について	① 災害発生時には、まず何を行うのか。	町長
				② 富士見町の非常時に於ける対応体制は、どのようになっているか。	
				③ 町長が留守の場合の対応は、どのようになっているか。	
				④ この災害は想定外であると言わないよう、平常時における訓練等はどのように行っているか。それは万全か。マニュアル作成を行なっているか。また町民の声をどのように生かしているか。	
				⑤ 災害時、町長が下した判断結果は、すべて私の責任であるとの決意であるか。	
			(3) 富士見町の防災・減災及び災害に強いまちづくりについて	① 令和2年度町長方針の防災力・災害対応力の強化は、どのように実行するのか。全ての町民に災害情報が行きわたるシステムを考えているか。	町長
				② 町長が行ってきた防災・減災の有形・無形の実績は。それに要した金額は。	
				③ 令和2年度の防災・減災に対する対策と予算見積額は。町民の要望にどのような対応をしていくのか。	
				④ 39集落中の自主防災会設置区は。理想的な自主防災会とは。今後の指導強化策をどのようにしていくのか。	
⑤ 災害時・訓練等に「消防防災GIS」導入の考えはあるか。					

質問順

第504回 令和元年12月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
6	8	名取 武一	(1) 自主防災会のスキルアップについて	① 先の台風19号の際、各集落の自主防災会と町の災害対策本部との関係が課題になったと思う。集落によっては自主防災会のスキルアップが必要ではないかと思われる。自主防災会のスキルアップのために町が今までしてきたことと、今後の方針は。	町長
				② 集落によっては自主防災会の役員が毎年、又は2年に1回変わるなど、役員のスキルアップに困難な状況も見受けられる。町が集落ごとの状況を把握し、役員の任期が短い自主防災会には任期を伸ばすよう指導をすべきではないか。	
				③ 自主防災会役員のスキルアップの資格に「防災士」がある。町民が資格を取るための受講料等について町が支援をすることはできないか。	
			(2) 「富士見パノラマリゾート」について	① この間「開発公社・パノラマを考える会」がチラシを2回配布した。内容に不可解な部分がある。町として町民にわかるように反論すべきではないか。	町長
				② 町長は9月議会で修繕や再投資にどのくらいの資金が必要か、1年かけて概算見積りの結果が出た、と答弁された。その概算見積りの内容は。	
				③ 町がこの間パノラマに直接貸付けた観光施設貸付14億5千万円は平成38年度から74年度で返済すると聞いている。一般会計から特別会計に繰り入れている長期貸付金約30億円は平成28年度から毎年4千万円づつ返され始めた。これからもこのペースで返すつもりか。	
(3) 小川別荘のソーラー計画について	① 11月12日、説明会が開かれたが、発言者の全員が無条件反対を表明された。10月から施行された条例に鑑みて、関係3集落が反対を表明すれば、町長は許可できないと理解してよいか。	町長			
(4) 田端地区の太陽光発電事業について	① 田端地区の太陽光発電事業について、事業者と田端区との間で協定書が結ばれたと聞いている。その主な内容は。	町長			
7	6	島 正孝	(1) 町職員の健康管理の現状は	① 年間計画での健康診断は。予防対策は。	町長
				② 発生した、又は予想される疾患に対する相談、指導対策は。	
			(2) 子供の貧困対策についての取り組みは	① 子供の貧困は、全国的な話題になっている。富士見町の取り組みは。また、検討していることがあるか。	町長
				② 町内ボランティア団体(こどもの未来を考える会)が定期的に給食サービスを行っている。この評価と行政側がどうコミットして行くのか。	
			(3) 幼児、児童、生徒の読書離れが進んでいるが、その対策は	① 国、学校での具体的取り組みは。また、その成果はどのようなものか。	教育長
				② 家庭における読書指導の取り組みは、どのようになっているのか。	
③ 将来的な図書館の充実計画はあるのかどうか。					
8	3	名取 久仁春	(1) 森のオフィスの運営・管理について	① 施設の買い取り予定は無かったか。	町長
				② 平成31年度 富士見森のオフィス 運営業務委託のスタッフの人数と業務内容は？	
				③ 平成31年度 地方創生推進交付金事業 富士見森のオフィス事業運営業務委託の具体的な事業内容は？	
				④ 平成31年度 地方創生推進交付金事業 富士見森のオフィス運営コンサルティング業務委託の具体的な活動事例は？	

質問順

第504回 令和元年12月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
8	3	名取 久仁春	(2) 庁内組織力の強化について	① 目標設定及び評価の方法は？	町長
				② これまでの面接方式の評価は？	
9	5	牛山 基樹	(1) 富士見町からの広報、町内外への情報発信の実情と課題についてどう評価しているのか	① 様々な広報・情報伝達の仕組みがある中で、現在の富士見町における広報状況、内容の充実度をどう評価しているのか。	町長
				② 町民並びに、町と接点を持ちたい関係人口・交流人口に対して、町からの情報提供の方法として情報発信は十分に機能し、役割をはたしているか。	
				③ パブリック リレーションズの観点から、町民並びに町外の方々の知りたいことに対して、相互理解し、適切な情報の提供はなされているか。また受け手の満足度を調査してフィードバックしたことはあるか。	
				④ 民間事業者、または個人の方々の、町内からの情報発信の現状について把握しているか。またその評価並びに期待する姿についてどう考えているか。	
			(2) エネルギー産業の変革を見据えたSDGsのローカル化、町に活力を生む新産業の富士見モデルについて考えはあるか	① 町のメガソーラー発電事業を含む再生可能エネルギーの自立分散・自給自足、蓄電による有効活用の可能性を探る調査や計画はあるか。	町長
				② 公共施設のCO2削減に向けた省エネ設備の導入を通じた率先的な取り組み、豊かな環境継承のためのカーボン・マネジメント体制は出来ているか。	
				③ 10年後、20年後、30年後のメガソーラー太陽光発電の活用計画並びに、耐用年数を過ぎたパネルの廃棄についての計画はどのようなものか。	
				④ 第2期総合戦略に掲げるSDGsのローカル化で、未来に向けた富士見町の環境対策への取り組みと、積極的な活用、未来への責任を考えているか。	
				⑤ 環境事業への取り組みと、新しい産業の創出、活力を生む地域インフラの整備についてどう考えているか。	
			(3) 成果を出すシティプロモーションの推進強化、2年目のゴールについてどう考えているか	① 今年度の事業運営の方法、成果についてどう評価しているか。町長が考える今年のゴール設定はどこか。	町長

12月9日(月) 5名 1番～ 5番  
10日(火) 4名 6番～ 9番